

Zeon Chemicals L.P. (ZCLP)

会社紹介

【事業内容】

合成ゴムの製造販売、その他ゼオングループ製品の販売

- ・製造販売品目：アクリロニトリルブタジエンゴム、アクリルゴム、水素化ニトリルゴム、エピクロルヒドリンゴム、Zeotherm®
- ・販売品目：シクロオレフィンポリマー、スチレンイソプレンブロックポリマー、RIM（反応射出成形品）、電子材料



ケンタッキー工場

1989 年設立。当社は 1989 年に B.F.グッドリッチ・ケミカル社のエラストマー部門を買収し、同年米国テキサス州パサデナに建設した水素化ニトリルゴム工場を統合して設立されました。北米を中心に事業を展開し、ゼオンブラジルを拠点に南米にも事業を拡充しています。

【拠点】

ケンタッキー州レイビル市、ミシシッピ州ハティズバーグ市、テキサス州パサデナ市

【子会社】

Zeon do Brasil Ltda

【人員数】

2020 年 3 月末人員数：303 名

会社方針（トップメッセージ）

こんにちは、社長の Michael Recchio です。私は ZCLP の社長兼 CEO として、米国でゼオン製品の販売を担当しています。2019 年は ZCLP にとって意義深い年となりました。売上高は予想を下回ったものの、利益目標は 80%を達成できたからです。2020 年、私からの社員の皆さまへのメッセージは、「We need to Build Relationships with Ourselves and Our Customers.（社員同士の関係をより良くし、お客様と会社との間に強い信頼関係を築く必要がある）」です。より明るい未来のために、社員間の、またお客様と ZCLP との信頼関係を築き直すことをテーマに、社員の皆さまに頑張ってくださいと思います。

毎年、大勢の社員が定年を迎え、多くの新入社員が入社します。だからこそ、社員同士が確かな関係を築き、堅実なチームワークと信頼関係を育むことが重要です。それが結果的に、事故の減少や環境問題の解決、技術開発の成功に結び付くのです。

原材料不足に苛まれた 2019 年が過ぎ去った今、当社のお客様との信頼関係を再構築しなければなりません。「ゼオンのブランド力回復」を実現するために、当社がお客様との約束を果たす企業だと信頼していただけるよう、関係を築くことから始めていきます。

ゼオン・グループの一翼を担う企業として、ZCLP は引き続きグローバルにお客様との関係を築いてまいります。そうすることで、アメリカにおけるゼオンの目標を、将来的により高めていくことができるでしょう。



Michael Recchio 社長兼 CEO

安全への取り組み

【方針】

安全性を向上させ、OSHA（労働安全衛生法）で登録が義務付けられるレベルの傷害・事故ゼロを達成する。

【具体的な取り組み】

ARPM（ゴム製品製造の業界団体）より、安全研修でのクリッカーの使用に対して 2019 年の Safety Best Practice Award（最優秀安全賞）を受賞しました。

● ZCLP チームが安全プロジェクト「リサイクルブタジエンのループ背圧制御」によりゼオン最優秀賞（Super Excellent Prize）を受賞

ケンタッキー工場のリサイクルブタジエン（RBD）の手動式ループ背圧制御の配管は、建物の外にあり、操作は配管橋から行うしかありませんでした。その上、従来の自動式背圧制御弁は故障しており、迂回されていました。そのため、社員は手動でボールバルブを調整し、RBD ループ背圧を制御していました。このボールバルブは、気温や気圧の変化に応じて、季節ごとに調整する必要がありました。調整やメンテナンスの作業は困難で、転落して大けがをしたり命を落としたりする危険が伴っていました。

受賞チームは、ビル（Poly Building 131）内部の南側ブレンドタンク上部に、RBD ストレーナーに隣接する形で背圧制御システムを設置しました。この制御システムは、インターロック、メッセージ機能、警報を備えたデータ収集システムと接続し、RBD 処理システムが完全に閉じないようにしています。これは、処理システムが完全に閉じてしまうと、タンクファームのポンプがデッドヘッド状態になったり、ウォーターハンマー（水撃現象）によって RBD リリーフ弁が誤って開いたりするので、そのような事態を防ぐためです。素晴らしい成果です！



受賞した Paul Elder（左）、Mark Allen（中央）、Aaron Bowen（右）

環境負荷削減の取り組み

【方針】

ZCLP の使命は、優れた環境対策で地域社会の良き構成メンバーであること

【具体的な取り組み】

ZCLP の環境改善の取り組みの例としては、ACM（アクリルゴム）の脱臭装置が挙げられます。2019 年、ケンタッキー工場は性能を向上した脱臭装置を設置しました。

経営管理統括部、技術部、研究開発部、ケンタッキー工場が設置されている ZCLP ルイビル事業所では、2019 年に環境保全の取り組みを拡大し、121 本の木を植樹しました。臭気の軽減、美観、ルイビル市街地の樹冠の拡大、都市部のヒートアイランド現象の低減など、植樹には数多くの効果があります。

環境関連データ

ケンタッキー工場		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
PRTR法対象物質	対象物質数	7	7	7	7	8
	使用量（トン）	15,376	13,757	19,796	19,151	15,967
	排出量（トン）	21	8	14	14	23
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	532	551	587	671	577
	埋立処分量（トン）	526	539	568	655	561

水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）	685	722	779	829	832
CO ₂ 排出量（トン）	32,329	31,368	32,107	30,877	29,310
エネルギー使用量（原油換算、kL）	10,323	9,755	10,219	9,723	9,259

テキサス工場		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量（トン）	0	0	0	0	0
	排出量（トン）	0	0	0	0	0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	41	42	38	72	38
	埋立処分量（トン）	1.6	1.0	0.8	33.0	5.3
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		188	228	261	258	242
CO ₂ 排出量（トン）		10,520	9,651	11,165	11,494	11,567
エネルギー使用量（原油換算、kL）		3,099	2,837	3,306	3,398	3,417

ミシシッピー工場		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	3	3	3	3	3
	使用量（トン）	4,298	4,367	4,735	4,754	4,333
	排出量（トン）	61	58	68	69	63
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	97	128	93	20	25
	埋立処分量（トン）	97	128	93	20	25
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		166	124	157	116	128
CO ₂ 排出量（トン）		14,777	13,923	14,853	15,938	22,449
エネルギー使用量（原油換算、kL）		5,999	5,624	6,087	6,536	9,391

地域との共生

企業活動において、当社は世界に誇れる技術力で革新を起こし、それを地域社会に還元することを方針としています。また、未来を担う子どもたち、特に恵まれない小学生に少しでも夢を与えることに注力しています。

2018 年、ZCLP のチャリティ委員会はイメージを一新し、名称を「Zeon's Helping Hands（ゼオンの支援の手）」と改めました。Zeon's Helping Hands では、社員の地域貢献活動への参加を重視して支援する組織づくりを目指しています。また、地域を大切にし、地域から信頼される企業づくりの精神を育むとともに、企業の責任として地域社会へ還元することが重要だと考えています。当社の目標は、コミュニティとしての企業と地域社会、この両方を強化しながら、他者への奉仕に尽力することです。

Zeon's Helping Hands は地域支援の取り組みで以下の 4 つに重点を置いています。

1. 教育

STEM（科学=Science、技術=Technology、工学=Engineering、数学=Mathematics）、環境、識字などに関する教育プログラムや就職支援プログラムで、地域の青少年の意欲を高め、輝かしい将来を応援する。

2. 地域への働きかけ

貧困、飢え、ホームレス問題への対策支援を行い、地域社会・住民の福祉向上に貢献する。

3. 健康福祉

病院、退役軍人、疾病関連の問題に支援を行い、社員や地域住民の健康的な生活を促進する。

4. 環境

環境負荷低減の取り組みや自然保護に役立つ活動に貢献する。

【具体的な取り組み】

ケンタッキー工場のポリマー・チーム は、地元の慈善団体 Shirley's Way に寄付を行いました。Shirley's Way は、がんと闘う地元の家族を経済的に支援する団体です。年に何回かイベントを開催して企業スポンサーから募った寄付をもとに、経済支援を必要とするがん患者を支えています。支援金は、処方薬、手術、家賃、住宅費、車の支払い、光熱費などに充てられるほか、がんによる感情的・精神的ストレスを緩和するためのレクリエーション にも使われています。

寄付金を集めるため、ZCLP の社員は今年もケンタッキー・ダービー・ベッド・レースに出場しました。出場チームの指揮を執ったのは資材部門のマネージャーUna Goosey です。ケンタッキー工場保守チーム（リーダー：Dennis Guernsey）が「Hercules（ヘラクレス）」というテーマでベッドカーを制作しました。パイロットは Steven Blevins、Brad Haines、Eric Saunders、Trevor Elliott、Nick Langmesser が務めました。レースの成績は振るいませんでしたが、ベッドの飾り付けが優秀だった参加企業に贈られる「ベスト・デコレーション賞」で1等を獲得。当社の Flying Pegasus（天翔けるペガサス）号は大成功を収めました。

ベッドカー・レースの他にも、2019 年には以下のような多数の活動を行いました。

- ・Cane Run 小学校の進級祝いイベント（Back to School Event）
- ・Bells Lane 通りのごみ拾い
- ・クリスマスのパーティと部署の飾り付け
- ・Cane Run 小学校のクリスマスギフト・バッグ配布
- ・カジュアル・フライデーの寄付
- ・スナック・フォー・ドネーション
- ・サイレント・オークション（入札式競売）
- ・Boys & Girls Club のボランティア
- ・Project Warm のボランティア

2019 年には、ZCLP 全体で 69,000 ドルを各種チャリティに寄付しました。

- ・Junior Achievement JA Inspire（青少年を支援する教育団体） 1,000 ドル
- ・YMCA の Black Achievers Youth Development Program（黒人生徒対象の育成プログラム） 7,500 ドル
- ・日本人学校の PTA 1,000 ドル
- ・2019 VEX Robotics Championship（ロボット・コンテスト） 5,000 ドル
- ・Louisville Regional Science & Engineering Fair（科学技術コンテスト） 3,000 ドル
- ・Parkland Boys & Girls Club（少年少女クラブ） 2,825 ドル（会社） 2,825 ドル（従業員）
- ・Cane Run 小学校の進級祝い 1,426.78 ドル
- ・Cane Run 小学校 Girls on the Run Program（女子生徒向けプログラム） 2,500 ドル
- ・ルイビルスポーツ学習複合施設 5,000 ドル
- ・Dolly Parton's Imagination Library（就学前の子どもに無料で本を贈るプログラム） 500 ドル
- ・Living Green Wall Project（大気汚染減少と景観美化のためのプロジェクト） 1,000 ドル
- ・Kiwanis Club（社会奉仕団体） 500 ドル
- ・Bean Ball Classic Wiffleball Tourney（慈善団体 Shirley's Way の催し） 600 ドル（Zeon からは3チームが参加）
- ・West Louisville Little League（少年野球チーム） 盗難備品の再購入費用として 1,000 ドル
- ・Keystone Learning Center（子ども向け学習センター） 1,000 ドル

we raised

\$29,936.75

for Shirley's Way in 2019

